ごあいさつ



第2回日本アカデミー賞を迎えるにあたって

日本アカデミー賞協会・名誉会長　今 日出海

映画は常に庶民と共に歩み続けてきた娯楽文化の主役です。明治以来の長い歴史の中で、その感覚的・技術的進歩は日進月歩を遂げてまいりました。今後の日本文化の形成、発展に対するその役割は、ますます重要視されつつあります。

このような期待に応え、かつ我が国映画界のより一層の振興に寄与すべく設定された日本アカデミー賞も、本年無事に第2回目を迎える運びとなりました。

申すまでもなく、日本アカデミー賞は映画人の手による映画人のための文化事業であり、映画界の総てのエネルギーを結集して成就するものです。

日本アカデミー賞のあるべき姿を真摯に見つめるとともに、本賞が我が国映画界の核となり、最高の権威と栄誉を持つものとなるよう、最善の努力を果たしてゆく所存でございます。

日本アカデミー賞に対し、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。



新たなる飛躍を

日本アカデミー賞協会会長　岡 田　茂

第2回日本アカデミー賞授賞式を迎え、当協会も1,000名に及ぶ会員諸氏の御入会を頂き、名実ともに『映画人による映画人のための賞』の協会として、新に発足することができましたことは、まことに御同慶にたえません。

もちろん当協会は、日本アカデミー賞だけのためにあるのではなく、汎く日本の映画人が一体となり、相携えて明日の映画の発展を期することにその意義があるのであります。

そのために各種の事業を今後積み重ね、当協会がさらに一段と成長・飛躍するよう、皆さまの一層の御支援・御協力をお願いする次第であります。

On the occasion of your second Nihon Academy-sho Ceremony, may I take this opportunity to wish you and your organization every success in the presentation of your program on April 7, 1979.

We congratulate you on the rapid growth of your association which will undoubtedly promote further development and recognition of film as an art form in Japan.

Howard W. Koch
President

第2回授賞式おめでとうございます

米国アカデミー協会会長　ハワード・W・コック

1979年4月7日に行なわれる第2回日本アカデミー賞授賞式に於ける貴協会の絶大なる御成功をこの機会に、お祈りできることを光栄に思っております。

我々は日本アカデミー賞協会の急速なる輝しい発展を心から祝し、又、映画が日本に於いてひとつの芸術として認められ日本の映画界が更に発展するものと確信しております。